

新年のご挨拶



中国しんきん健康保険組合

理事長 山本徹

新年あけましておめでとうございます。

被保険者ならびにご家族の皆さまにおかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。旧年中は当健保組合の事業運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、健保組合にとって大きな変革の年となりました。内臓脂肪に着目した特定健診・特定保健指導が実施され、メタボリックシンドロームに対する国民的関心が高まりました。また、老人保健制度に代わって新しい高齢者医療制度が実施され、高齢者の医療費の負担をめぐり、大きな議論を呼びました。新しい高齢者医療制度の実施にともなう納付金等の負担は、健保財政に重くのしかかり、その財政運営に大きな影響を与えることにもなりました。

平成20年度の健保組合全体の予算では、前期高齢者医療を含む高齢者医療制度への負担が急増、9割の健保組合が赤字という状況になり、負担に耐え切れずに解散する組合もありました。

高齢者の医療費の公平な負担を目指すために導入された制度が、健保組合の保険料の引き上げや組合解散を招いているとすれば、負担のあり方に対するさらなる議論が必要となるでしょう。

健保組合を取り巻く状況は、このように非常に厳しいものではありませんが、当健保組合といたしましては、これまで以上に健保財政の健全化に努めていくとともに、被保険者ならびにご家族の皆さまの健康づくりを支援する保健事業に力を入れていく所存でございます。皆さまにおかれましても、心身の健康に留意され、本年も充実した日々をお過ごしになられますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。